

# 逆引きDNSに関するお知らせ

lame delegationについてご報告

JPNIC 技術部 小山祐司

# 逆引きDNSのlame delegation 改善

---

## JPNICの取り組み

- 逆引きDNSのlame delegation(以下lame)を減らす
- lameになっている逆引きゾーンの委任を停止  
(45日以上続く場合)

2008年7月開始、8月に一時中断

2009年7月に再開

再開から約1年間の経過を報告します。

# JPNICにおけるlameの定義

---

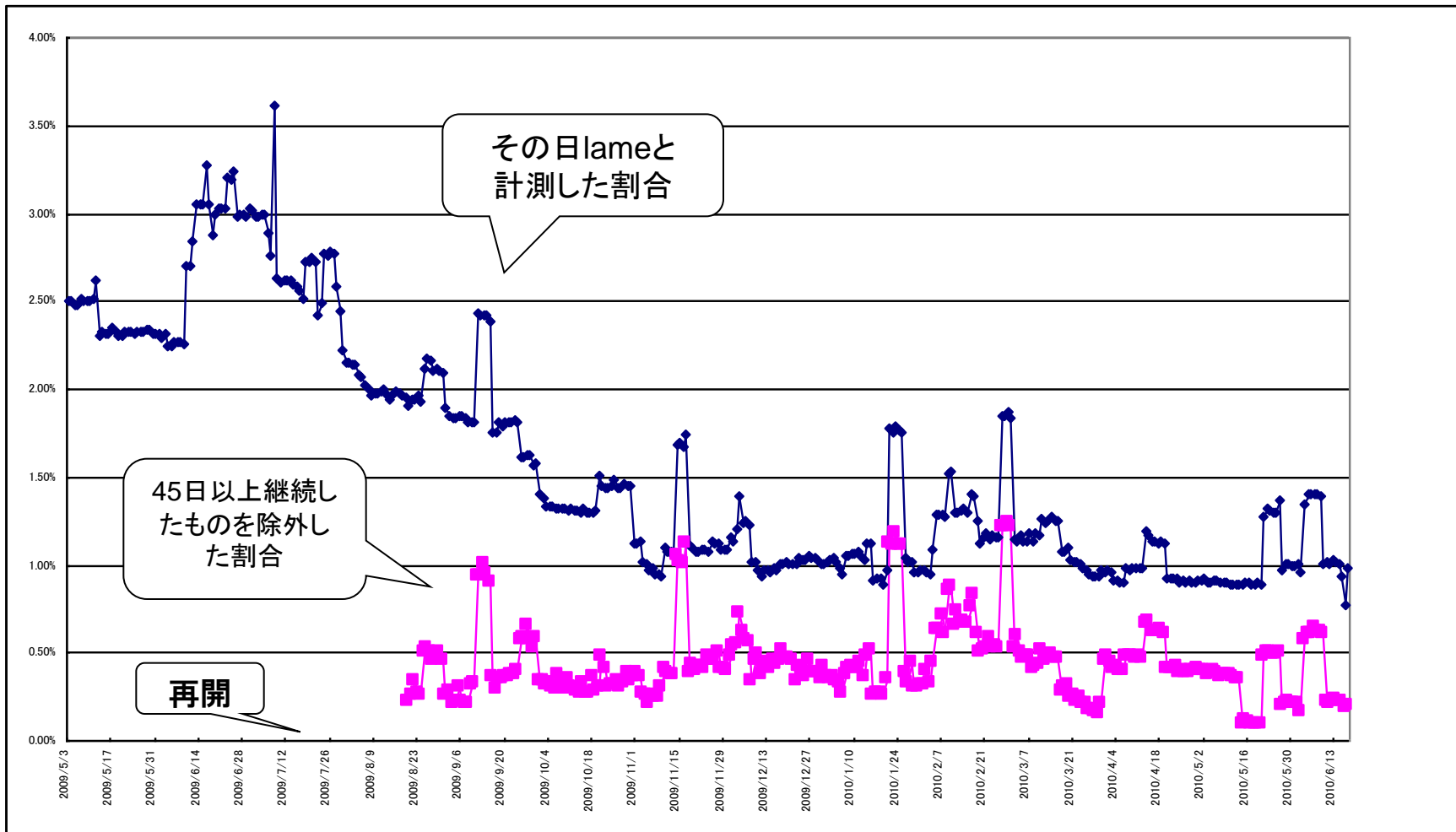
- ・ 15日間連続して
- ・ 委任されたゾーンのSOAレコード問い合わせに対して
- ・ AA bit付きで返答しない

この3つにあてはまる場合lameと判断

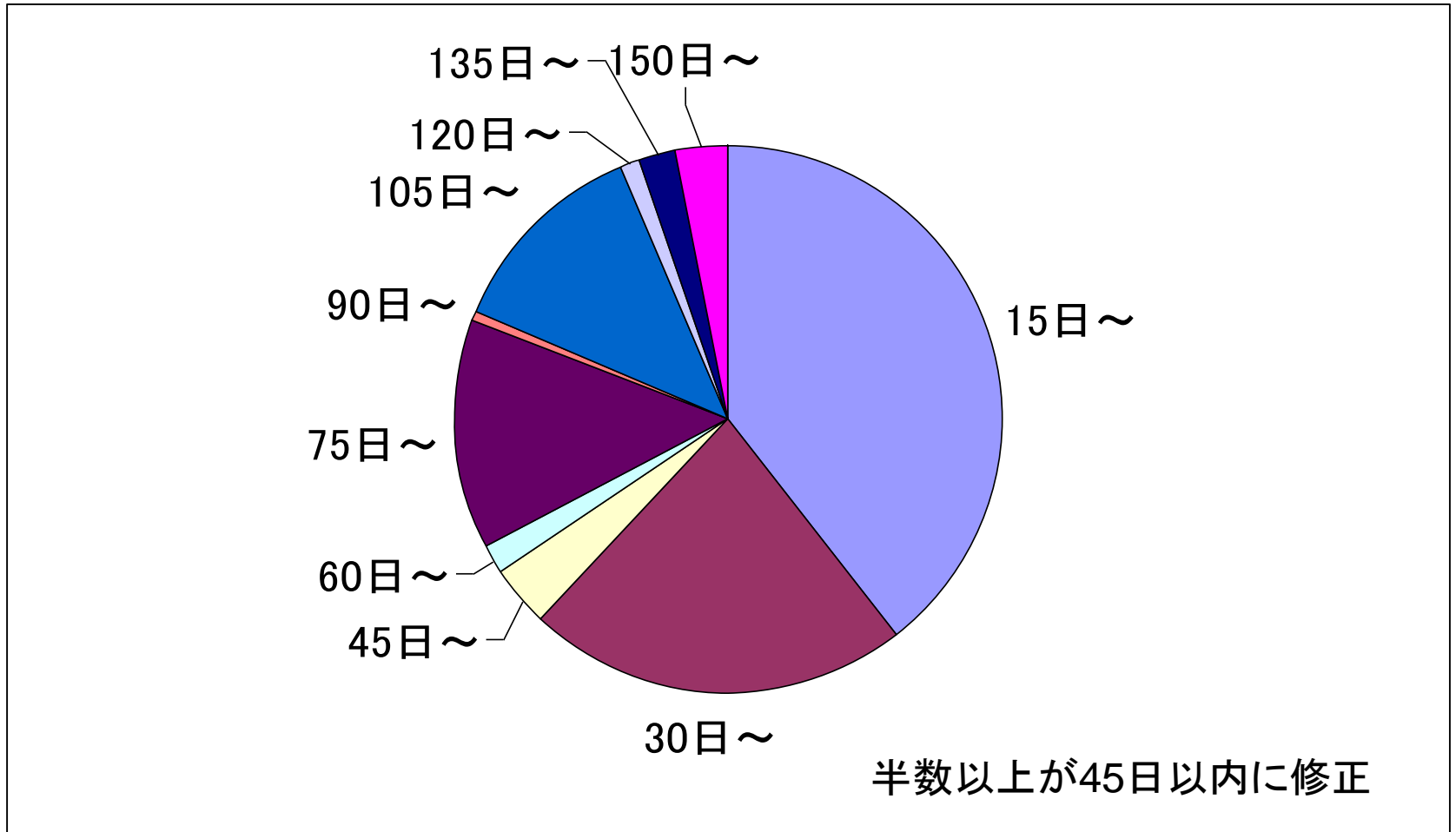
原因としては:

- 登録したネームサーバ名が間違っている
- ゾーンの権威サーバになっていない
- DNSサーバとして動作していない、など

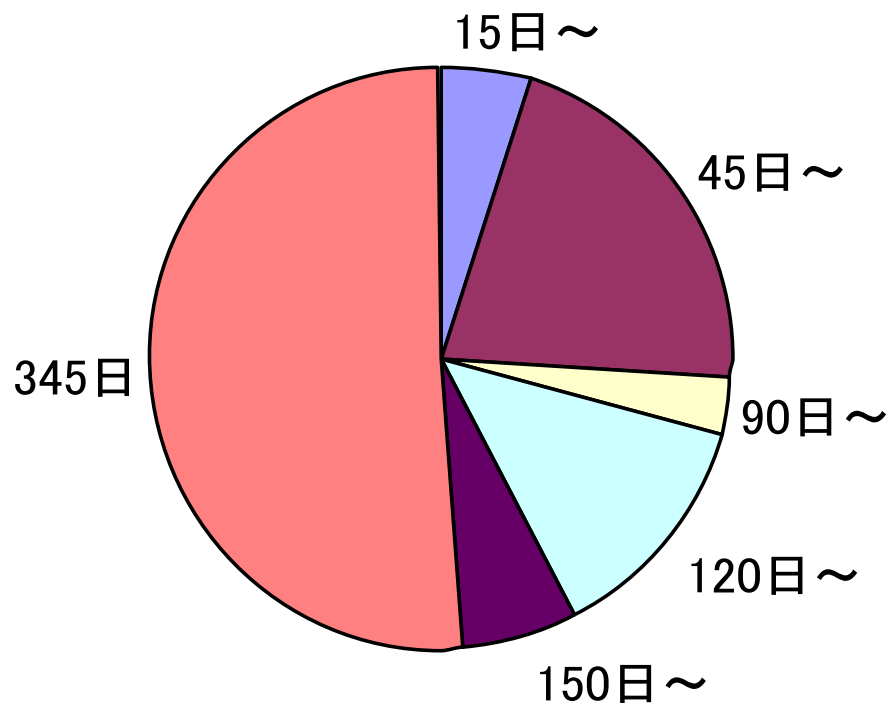
# lameの占める割合の推移



# lameになってから修正されるまでの日数

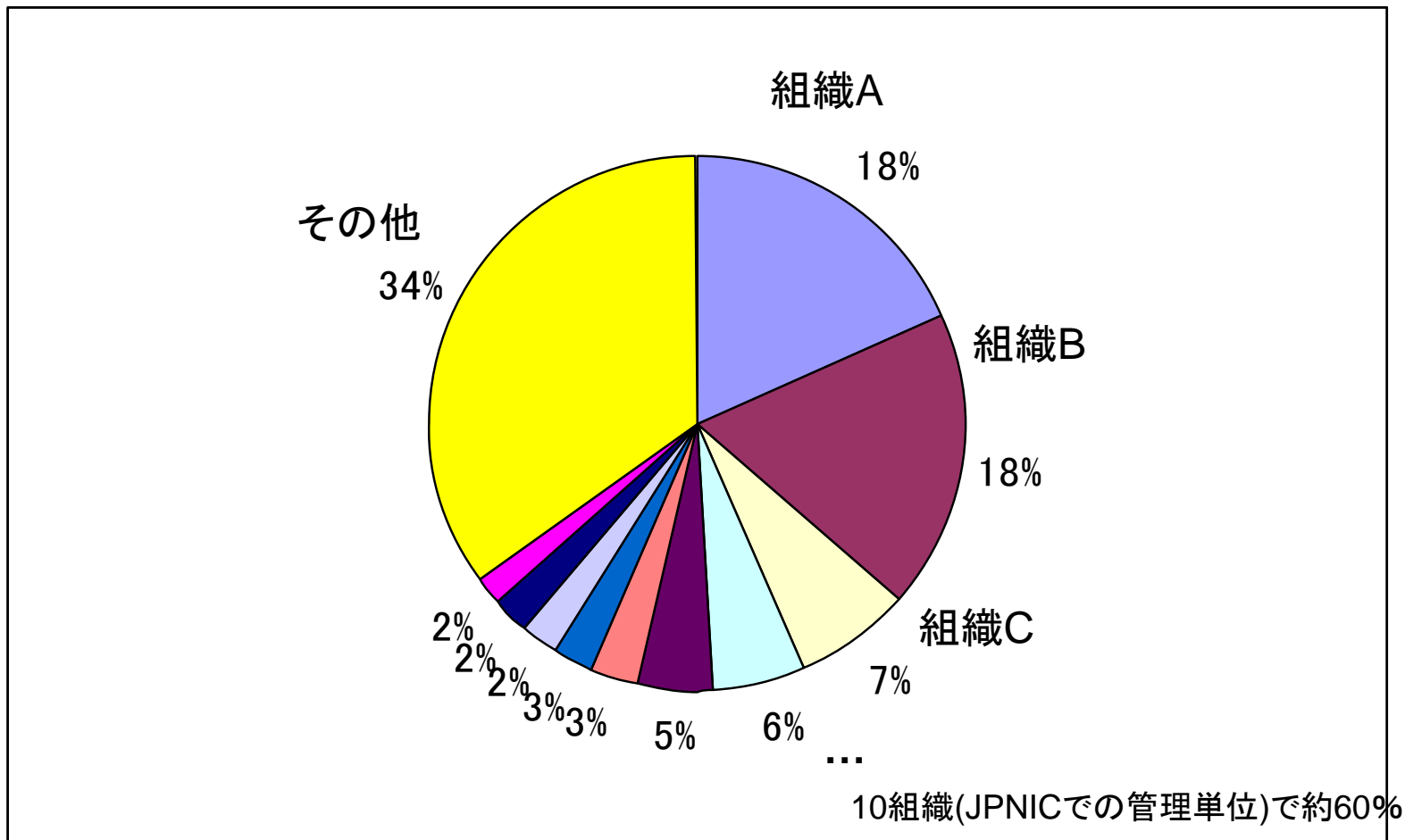


# 6/17時点のlameの継続日数

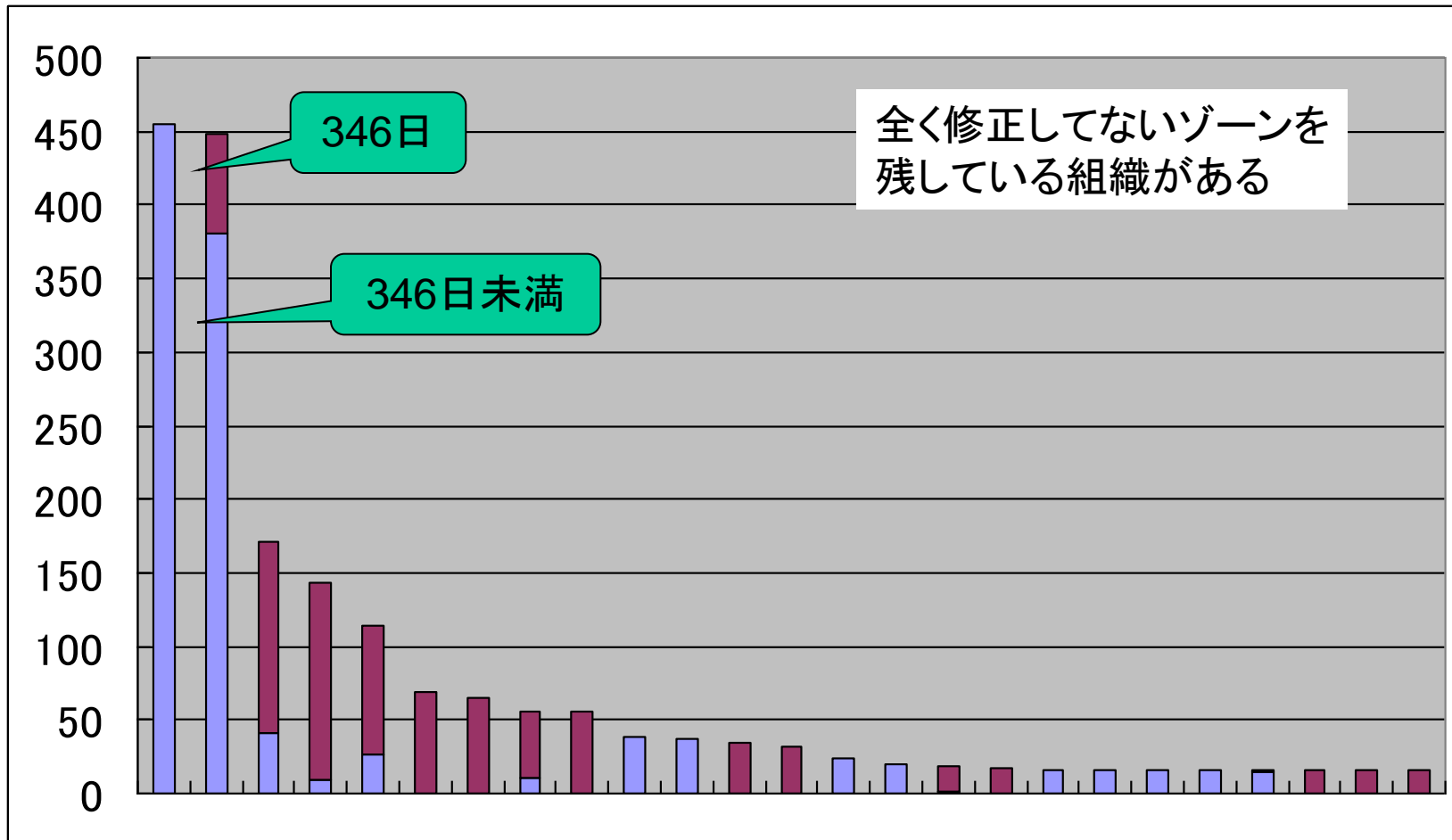


半数がまったく修正されない

# lameに占める組織別の比率



# lameの組織別絶対数と修正状況





# まとめ

---

- ・ 現在、逆引きに占めるlameの割合は1.0%
- ・ 6割程度は委任停止になる45日以内に修正される
- ・ しかしlameで残っているレコードの半数はまったく手をつけられていない(?)

# 今後の取り組みの検討

---

- ・ **lameチェックの強化**
  - ネームサーバ登録・変更申請時にチェックする
- ・ **lameではないが、あまり良くない状態を通知**
- ・ **または情報提供の項目を増やす**
  - SOALレコードの中身を検査
  - シリアル番号がNS間で一致しているか
  - Authority NSはきちんと複数あるか
  - etc

今後検討していきます

